

御絵伝 (その5)

報恩講の時、内陣の余間に飾られる親鸞聖人の御生涯を描いた御絵伝は、御伝抄の内容を描いたものです。縦長の画幅のなかに、下から上へ順番に親鸞聖人のご生涯を見ることが出来ます。

第二軸・第四図 「入西鑑察」



五条西洞院の禅房で、弟子の入西房（にゆうさいぼう）に御真影を写すことを許可されているところが描かれています。

右半分は、入西房に御真影を写すことを許されているところ。

左半分は、筆を持ち御真影を写している定禅法橋（じょうぜんほつきょう）の姿が描かれています。

第三軸・第一図 「師資遷謫」



承元元年2月の念仏禁制の情景が描かれています。

住職レター

八月二十日未明に起きた大規模土砂災害、心が痛みます。亡くなられた方々には哀悼の意を表し、被災された方々にお見舞いを申し上げます。自然の猛威に対して、無力な私たちであることを、改めて感じ入りました。

異常気象と、一言で片付けられない感がありますが、今年は夏らしくない、夏であります。朝晩は涼しく、猛暑とは程遠いお盆でありました。このままだと、日照不足で、お米の出来も良くないのだとか。

さて、八月四日、善教寺本堂にて『夏の子ども会』を開催しました。小学生の子どもたち二十三名の参加。午前中は仏様の話を聞き、お昼は仏教婦人会役員の皆さまが、手作りカレーを作って下さいました。満腹になった昼からは、本堂でゲームを開催。午前中は、恥ずかしそうにしていた子供たちも、ゲームになるとパワー全開です。



学校や学年が違っても、一致団結してチームでゲームを楽しんでいました。

お寺の本堂で遊んだこと、大人になっても良き思い出として覚えていてくれることを願っています。



また来年の『夏の子ども会』、本堂で楽しめることを楽しみにしているね。